

●第3回 中聖牛設置完成 参加者 11月23日37人・24日53人合計90人の参加 雲一つない青空のもとで中聖牛の設置を行ないました。厳しい寒さが予想されていましたが、23日の朝から好天に恵まれ、気温も平年に比べて暖かく野外での作業にはうってつけの秋日和でした。台風19号で設置現場への通路(250m)が洗掘され、必要資材の持ち込みが不可能になるのではないかと随分と心配をしてきましたが木津川出張所のお骨折りがあって、修復が進み第一関門の解決を通過しました。また堤防強化工事が開始され、工事業者さんとの複合も調整が進みました。予期していない難題をクリアして順調に事が運びました。特に木津川の水脈筋が東に移動して設置予定地が水の中になるので、胴長靴を使用しての作業となるとこれは大事になり、計画通りには進まないことは明かか、最も心配することでした。深さが30cmもあるので、心を砕きました。この点では木津川事務所の特別な計らいで隣接する土砂を運び込んで普段の水位より少し高く盛り土を行っていただき最大の難題(水中での作業)を回避できました。出来上がったのが木曜日の21日のことでした。翌日には詰め込む玉石の現地への運び込み日になっていたのもヒヤヒヤものでした。これもうまく乗り越えられました。前日の玉石の配分が完璧に配置できました。このように事前の難題や課題が大変うまくぎりぎりでしたが間に合う方向で調整が進み、大事だったのですが何事もなく順調に当日を迎えることができました。設置当日は天気が良く気温も寒なく、風も無風状態で絶好の天候でした。

いつでもどこでも仕事の最初は予定通りには進まないのがどの現場でもあることで、今回も人手は多くあるのですが、聖牛の棟木や中心の丸太の組み合わせ、針金による固定化がうまく進まず、午前中には一基を完成させる予定が覆さされました。午前中の完成予定が14時過ぎにやっと蛇籠を載せ、石詰めが始まりました。この調子だととても二基目の組立には届かないだろうと受け止めました。ところが石詰め集中している間に主柱を立てるからとの号令がかかって、慌ててロープを引っ張りに走るようになりました。二回目の作業は一回目で苦心を繰り返したので、要領が分かって、それぞれがどのように動けばいいのかが理解され、無駄のない能率の良い動きが出来てすごいスピードで作業が進行しました。石詰め作業も終わりに近づくと二基目が組みあがっていました。蛇籠を載せる最後のコロの取り付けを残すところまで組みあがりすごい速さでした。明日の朝いちばんに固定すれば手持無沙汰が解消することになります。

二日目は午前8時に作業が開始され、9時には2基目の石詰めが始まりました。続いて三基目に取り掛かり、11時過ぎには三基目が完成、直ちに石詰め開始、12時前にすべてが完成し、周囲の残りの石の片付けも出来上がりました。玉川君が飛行させるドローンによる撮影が行われ、全員が勢揃いして記念集合写真の撮影です、ワンドを前にして水面の移る聖牛と看板が印象的でした。撮影が終わると、予定通り正午になりました。

昨日に引き続き森さん伊藤さんの心がこもった炊き込みご飯と味噌汁、漬物、酢の物などを添えて昼食をほおばりました。竹蛇籠を編み上げて、悪条件を克服して、みんなの手作りで組立設置をやり上げたトリプル満足感が大きく喜びがあふれ、大変おいしい昼食となりました。ご参集いただいた皆さんのうれしそうな顔がそれを物語っていました。久しぶりに味わう達成感でした。

●摂南大学生連日10人以上の応援に感謝 23日の初日の取組で、この人数でやり遂げるのは無理ではないかという雰囲気での出発でした。棟木など大きな丸太などを運び込んだころ(約一時間)石田先生を先頭に、摂南大学の学生さん10人ほどの顔が見えました。これは何とかできるのではないかと明るい雰囲気になり変わりました。若い人の顔が見えただけで力強い激励になりました。翌日は早朝一番に参加があって、数十カ所の針金縛りや石詰め作業を総がかりで進めていただきました。最後の三基目の頃取り付けや石詰めは全参加者が寄ってたかったの総作業になって、見ている間に詰まりました。特に若者の力・集中力は勢いがあって気持ちのいいテンポで仕上がります。もし摂南大学の学生諸君の応援が見られなかったらとても予定していた二日目の午前中の完成にはならなかったと思います。二日間にわたってのご協力本当にありがとうございました。

●里山の会も深田理事長先頭に大奮闘 高齢者集団になっている里山の会は、27日間にも及ぶ竹蛇籠の製作で粘り強く頑張りました。今年はその日に使用する分量だけの竹を割る方式に替えたので、柔らかく扱いやすい材料の使用になりました。新しい幅精製機の威力もあって、均一な材料の提供が昨年より格段の差で実行できたので、疲れ方が全く違って、軽く製作を続けられました。製作期間1カ月半、45日のうち27日にも及ぶ製作作業の連続が可能になったのではなかと思われれます。昨年まではかなりの重労働作業なので、明日は休まなければならないという気分で行って終わりました。翌日朝になると休んでおられない、頑張らなければ期日に間に合わないという気力を絞って出掛けました。しかし今年は重労働からの解放で随分と改善されて、昨年ほど気力を振り絞らなくて、比較的気楽に取り組むことになったようです。気分的に追い込まれなくなったようです。それでも振り返れば随分と長い時間

を注ぎ込んだものです。頑張っていた下さり難うございました、製作講習会への一般参加者をどう集めるのかが課題として残りました。

●**竹蛇籠の出来栄え毎年向上** 素晴らしい出来具合 昨年折りの多いみなさんから比較にならないほど竹蛇籠の仕上がりが良くなったと驚きの声が聴かれました。うれしかったのは私だけではなかったはず。随分と自信をつけたものです。しかし今年は三種の機械の準備で材料資材への気配りに神経を使わなくなって、心に余裕が生まれて、手元に気分を集中できるようになって、編んでいる蛇籠を正確に眺められる余裕が生まれ、より良い製品を目指そうとなって、随分と客観的な視点を働かせられるようになりました。素晴らしい均一な材料から、均一な作品に仕上げられるようになったのではないのでしょうか。原小組の原廣太郎社長は現場についた途端口から出た言葉が「上手になったね、私の組よりうまく作れています」と大絶賛の評価でした。まだまだ六つ目編みの頂点には立っていないと思いますが昨年よりは確実に良い作品に見える出来栄えでした。頑張って苦心していただいた太田さん大釜さん福井さん本当にすごい成長です。少しずつ頑張ってゆきましょう。

●**参加者の昼食提供** 初日は3升のご飯を炊き上げて特製のカレー、二日目は炊き込みご飯の提供がされる 昨年も聖牛設置の折りに昼食を用意したけれど、今年はどうなのですかと尋ねていただきました。毎年負担をかけるのは心苦しいと思ってお願いすることをためらっていました。声をかけていただいたので、これは幸いと「実はこうこうと心情」を正直に伝えました。準備する心つもりをしているとお聞きして、重たい心がすっかり晴れ軽くなりました。広い河原で寒風吹きすさぶ現場で暖かい食べ物が提供されるとさらに頑張ってやる気を持っていただけるなあと思っていました。気楽に声をかけていただきありがたかったです。二日間にわたって用意いただきまして本当にご苦労様でした。広い河原で青い大空の下、美味しくいただきました。

●**河合典彦先生2日間大奮闘** 河合先生は今年定年で気楽にされるのかと思っていました。ところが現役続行ということなので、少しがっかりしました。(私なりの心づもりがあったのです) 今回の蛇籠製作東京都中聖牛の設置に、多忙の中時間を割いて二日間ご参加いただきました。先生は木津川のことに限ってはかなりのエキスパートだということを聞かされました。若いころ木津川の多くのワンドに潜って魚の調査をしていました。木津川のワンドではイタセンパラもたくさん泳いでいましたとのことでした。河合先生は城北ワンドでの取り組みの中心に立って活躍中でおられます。新年から本格的に初める復活を目指しての取組みにご参加いただければと、大きく期待が膨らみました。よろしくお願いします。

●**太田敏之さん二日間、誰よりも早く到着 諸準備を整える** 昨年12月に加入していただいた太田さんは取り組むすべてのイベントに新しく興味をもって参加いただいています。今回の中聖牛もその一つで、朝早くどのように取り組んでいくのかと関心深く出席いただきました。まさに最初から最後までしっかり観察していただいて、こういうものかと客観的に正確に感じていただいたものと思います。新鮮な視点で感じられたものを提案いただき里山の会の躍進に力を発揮していただければと思います。12月が過ぎると丸1年なので、さらに飛躍目指してご活躍を期待しています。

●**竹蛇籠シンポジウム 24日13時から47人の参加で大成功** 三基の中聖牛の設置を1日半かけて終了させ。二日目の午後に竹蛇籠に取り組んで4年、蛇籠の取組の中間報告シンポジウムを計画していました。10月13日に実行予定でしたが、台風19号の来襲によって、やむなく中止となりました。そこで急遽、11月23・24日に予定している中聖牛設置の工程を短縮して開催いたしました。計画にかなり無理がありました。日程的にも大型取組を兼ね合わせるのですから、どうなるかと心配80%で決行しました。当日は予想を超える皆さんにご参集いただき大成功といえるのではないかと思います。角先生、竹門先生、福井波恵さんいいお話ありがとうございました。まとめて継続が大事との指摘、心に残りました。

●**木津川希少種植生調査管理作業** 除草80%に到達 総面積が15000㎡で39個所の植生調査と除草作業のうち除草作業のうち1000平方メートルを超えるところは全部刈取りことが出来ました。残るところは小さい面積になっていて、10カ所程度となり2日間程度でやり遂げられる見通しです。除草した場所の刈取り草の収集が最後の仕上げになります。12月にはいい晴天が続き乾燥すれば刈草集め作業を行います。これは焼却処分をしますので天候に左右されます。また運搬するためにも乾燥させておく必要があります。できれば早期に年末大仕事をやり遂げたいと思っています。お手伝いをお願いします。

●**ナンキンハゼの実の収集に協力をお願いします。** これまで集めてきたナンキンハゼの実が全部なくなりました。お近くのナンキンハゼの実の収集採取をお願いします。里山の会までお知らせください。